

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870400417
法人名	医療法人 青峰会
事業所名	アクティブライフ松柏
所在地	八幡浜市松柏甲7 2 8 - 1
自己評価作成日	平成22年11月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年12月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

理念に基づいた介護で、利用者一人一人がその場で活動出来たり、力を出せる場作りをしている その人らしい生活が出来るよう居室などの工夫している 夕涼み会、敬老会、法人でのバザー、月に一度の外出レクなど行事を取り入れている
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●事業所主催の「夕涼み会」の案内を地域の回覧版でまわしていただいたり、公民館や店舗にお願いして、案内のポスターを貼っていただく等、協力を得ながら夕涼み会に多くの地域の方が来てもらえるように取り組まれた。又、「お菓子まき」等、子ども達の喜ぶような企画もして工夫された。地域の公民館で振る舞われる「七草粥」の日や「公民館まつり」のバザー等にも利用者も出かけておられる。事業所の建物の前にある中学校から「総合学習」で中学生の訪問があり、日々でも散歩の途中に声をかけてくれる。 ●以前から行っている図書館に本を借りに行かれたり、行きつけの美容院の利用が続けられるように支援されている。ご家族と旅行に行く予定の利用者もおられた。
--

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と		
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと		
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと		
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない		
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	○	1. ほぼ毎日のように		
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度		
			3. たまにある				3. たまに		
			4. ほとんどない				4. ほとんどない		
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている		
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている		
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない		
			4. ほとんどいない				4. 全くいない		
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が		
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが		
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが		
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない		
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が		
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが		
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが		
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない		
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が		
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが		
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが		
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が						
			2. 利用者の2/3くらいが						
			3. 利用者の1/3くらいが						
			4. ほとんどいない						

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 アクティブライフ松柏

(ユニット名) すだち

記入者(管理者)

氏 名 山崎 奈美

評価完了日 平成22年11月16日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			理念を作成、玄関、廊下、事務所、リビングに掲示 職員一同理念を共用し実践につなげている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(外部評価)	
			「地域の中でその人らしく暮らしながら人間の尊厳を大切に生きて行く」「家庭的な雰囲気の中で、ゆっくり 楽しく いつも一緒にをモットーとして自立支援を行う」と事業所の理念を作成しておられる。居間には「ゆっくり、楽しく、いつも一緒に」と事業所のモットーを掲示しておられ、職員は、利用者とゆっくり過ごす時間を大切にされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			年1回夕涼み会を開催し地域の人達にも声をかけ、来てもらったり、町内清掃、防災訓練に参加している。又、学校行事や公民館の催しにも参加し交流を心掛けている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(外部評価)	
			事業所主催の「夕涼み会」の案内を地域の回覧版でまわしていただいたり、公民館や店舗をお願いして、案内のポスターを貼っていただく等、協力を得ながら夕涼み会に多くの地域の方が来てもらえるように取り組まれた。又、「お菓子まき」等、子ども達の喜ぶような企画もして工夫された。地域の公民館で振る舞われる「七草粥」の日や「公民館まつり」のバザー等にも利用者と出かけておられる。事業所の建物のある中学校から「総合学習」で中学生の訪問があり、日々でも散歩の途中に声をかけてくれる。	利用者の状態のこともあり、地域の方達との交流には難しい面もあるが、現在、運営推進会議時に提案いただいた、散歩等の地域ボランティアを募っておられる。地域の方達と利用者の交流の機会作りから、事業所のことをさらに知ってもらえるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			中学生の福祉体験の受入れ、又地域まじえた夕涼み会やいつでも施設内を見学して頂けるようにし、認知症について理解してもらうようにしている	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 二ヶ月に一度運営推進会議を開催し家族、公民館長、保健センター職員、他事業所参加して頂いている。ホームでの活動状況や感染症の発生等報告を行い意見交換、情報交換を行い推進会議で出た意見をスタッフ会へ持ち帰り話し合い、サービス向上に活かしている	
			(外部評価) 「ちょっと寄って話さん会」とネーミングされた運営推進会議を、事業所は「地域との情報交換の場」と捉え、公民館長、自治会長、婦人会の方や、近隣のグループホームの方達に出席していただいている。地域のことや事業所の様子等を報告し合って意見交換されており「外部評価について」「利用者の一日の生活の様子」等、毎回テーマを決めてすすめておられる。ご家族は、1年を通して2～3名の方を決め、参加していただくようにされている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 八幡浜市GH連絡に二名ずつ参加、又、市開催の研修会等に参加したり、年数回さわやか相談員さん来所し事業所のサービス内容や行事の見学又、利用者さんと会話されたり、時にはアドバイスを頂いている	
			(外部評価) 市主催の研修会に参加されている。事業所の「夕涼み会」を見学された介護相談員の方からは「地域の方と利用者が交流出来る場面があればいいですね」とアドバイスをいただき、次回から採り入れることを検討されていた。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の研修に参加理解している 一時帰宅願望の強い入居者が居て夜間のみ、2階玄関ドアの施錠をする事があったが、基本的に玄関の鍵は開けている。又、開くとチャーム音が鳴るようにしている	
			(外部評価) 身体拘束について、職員は、法人や外部の研修で勉強をされている。2階の階段には、車椅子を利用している方等の危険回避のため、取り外しできる柵を付けている。	

特定非営利活動法人 JMACS

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ホーム内では月に一回スタッフ会があり、意見や提案を聞く機会を設けられている	
			(外部評価)	
			「食事を終えた職員が、食事介助をする職員と交替する」等、日々の業務やケアについて職員で話し合いながら決めるようにされている。避難訓練では、職員が、研修で学んだ応急処置や、被害に遭った利用者の運搬法等について、実技講習を行い、全職員で共有された。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			法人内に人事考課制度、登用制度がある。年に1回は、移動希望調査が行われている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修を受ける機会が多く、介護技術の質の向上は出来ており現場で生かしていると思う	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			施設長及び職員が他の施設の運営推進会議に参加したり、同業者との研修を受け入れたり意見など反映している	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			ほとんどが母体からの入所である。事前に基本情報やアセスメントにより、生活の状態を把握するよう努めている 見学出来る人には事前に来て頂き、スタッフともコミュニケーションを取るようになっている	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所時、困っている事や要望等を聞き、スタッフ間で話し合いを行っている 良い関係づくりに努めている	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 新規入居者の管理を法人内の病院内でしており、必要な支援を見極めた上で、グループホームでの支援が必要とする方が入居してきている。ホームでも事前に様子や状態を見て、本人・家族の話を聞いた上で受入れをするようにしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入所者を共に住む家族という気持ちを持って接している お互い助け合える関係を築いている	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所時本人の状況を話している 暮らしの出来事や気づきの情報共有に努め、一緒に支えていく関係を築いている	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 以前から利用されている理容室や図書館など、関係継続できるよう支援したり、友人や親戚の方など気兼ねなく来て頂けるような雰囲気づくりに努めている (外部評価) 以前から行っている図書館に本を借りに行かれたり、行きつけの美容院の利用が続けられるように支援されている。ご家族と旅行に行く予定の利用者もおられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 一人一人が孤立しないよう心掛けていますが、個性が強く利用者同士の穏やかな関係が少し無くなっていると思うがスタッフで話し合いながら努力はしている	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約終了後、ほとんど関わりが無くなる状態であるが、町などで出会った時は必ず声掛けしている	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々、関わっていく中で一人一人の希望を把握するように努めている その人らしい生き方をして頂くように努めている (外部評価) 日々の記録には、「本人の訴え」「状態」「職員の対応」「気づき」等を記録するようになっており、職員は、利用者の生活歴等を知った上で話題作りに努め、利用者個々の思いや意向を引き出せるよう取り組まれている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居情報やサマリーから情報を得ている又、家族や本人に直接聞くようにし把握に努めている	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々のバイタルチェックやちょっとした変化にも気を配り、残存能力を引き出せるように努力している	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			スタッフ会後にカンファレンスを開き家族、本人の思いを取り入れたアセスメントを元に、職員で意見交換しアイデアを出し合い、利用者様にとってより良い介護計画を作成している	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			介護計画を作成する前に利用者やご家族の意見を聞き取り、職員でカンファレンスを行い、介護計画を作成している。食事制限等のある方は、栄養士や医師のアドバイスを採り入れておられる。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			日々個別に介護記録に記入し気付いた事があれば、申し送り時にスタッフに伝え、情報を共有し、質の向上と実践を行っている又、その介護記録をもとに介護計画の見直しに役立っている	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			行事の際はボランティアの方や婦人会の方に来て頂き、年に2回ある防災訓練では消防署の方に来て頂いている	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 母体が病院なので適切な医療は受けられている 本人様、家族の希望があればそちらの病院へ受診され る 医療連携にて、ナースの訪問看護や急変時には対応し てもらっている	
			(外部評価) 入居時に、ご家族の希望をお聞きしており、ほとんどの利用 者が「往診してくれる協力医に診てもらいたい」と希望されて いる。歯科、整形外科等の受診には、職員が同行されてい る。ご家族が通院介助される場合は、ご家族に事業所での ご本人の状態や様子を伝え、受診結果を教えていただくよ うにされている。母体病院の看護師、医師は24時間相談で き、対応してもらえるようになっている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 利用者様の体調変化があればすぐにナースに相談し、 アドバイスを頂いている	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 母体が病院の為、医療連携ができ安心できる。母体病 院の医療情報課を通し、情報交換を行っている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化すると母体の病院へ入院となることが多い。 一部の家族と終末期について話し合っているがはっき りとした返答は頂けていない。	
			(外部評価) ご家族には入居時に「常時、医療行為が必要になった場合 には事業所での支援が難しい」ことを伝えておられる。「母 体が病院なので、安心」と言われるご家族も多いが「その時 になってみないとわからない」と言われるご家族も多くあり、 現在は、ご本人の状態変化時等にご家族と、今後のことにつ いて相談するようになっている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) グループホーム連絡会の研修及び、附帯施設の勉強会に出席し、応急手当や対応の仕方など学んでいるが、いざという時に慌てていると思うので勉強会に積極的に参加し、実践力を身につけていきたい	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に避難訓練を行ったり、防災時の対応（協力機関）のマニュアルが作られており、地域との協力体制を築いている又、年1回地域の防災訓練に参加している (外部評価) 運営推進会議時に、夜間時の火災発生を想定した訓練を実施された。メンバーの方達に訓練の様子を見ていただき、アドバイスをいただいた。又、職員のみで行った避難訓練時には、研修に参加した職員が、災害時の搬送方法について、実際に布団を使って他の職員に教えられた。地域の防災訓練には職員が参加されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 自尊心を傷つけないよう一人一人の尊重や優しい言葉掛けで対応するように気をつけている オムツ交換やトイレ誘導、清拭等の時は必ずドアを閉める (外部評価) 管理者は、利用者に対する言葉遣いに気を付けるよう指導されている。職員は、利用者に「笑顔で接する」ことを心がけておられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自己決定出来るよう入浴後の洋服を選んで頂いたり、月1回でも好きな物が食べれるよう聞いて献立作りに努めている 何でも話して頂けるような雰囲気作りを心掛けている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人一人のペースに合わせ過ぎて頂いているが、中には不穏等に対応が難しい事もある。日によっては、スタッフ手薄により、スタッフ側のペースになることもある	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 2ヶ月に一度、美容師さんに来て頂き、散髪して頂いている。「毛染めをして欲しい」と希望された際には、スタッフが関わり支援している。 外出時には一緒になって服選びをしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食材の下ごしらえや、食後の後片付けを手伝って頂いている 季節の食材を選び、食事を楽しんで頂いたり、月1回は好きな献立になるよう個人に聞き取り入れている (外部評価) 職員は、利用者と一緒に食事しながら「○○ですよ」とメニューの詳細を伝え、食事介助をされていた。最後に残った箸でつかみにくいようなものは、職員がスプーンに乗せて、ご自分で口に運べるように支援されていた。昼食時、おせち料理で食べたいものを利用者に聞いておられ、利用者からは「かずのこが好きなんよ」「お刺身が好き」という声が聞かれた。食後、席でおしゃべりしながら利用者と職員もゆっくりされていた。その後、エプロンを付けて食器を洗ったり、お盆ふきをされている利用者がおられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事チェック表を利用し、いつでも摂取量が把握出来るようにしている。又、10時と15時、入浴後に水分補給をして頂き、夜間はペットボトル、吸飲み等でお茶や白湯を入れ自室に置いている	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを行うよう声掛けを行い、チェック表に記入している 夜間義歯を外して頂くよう促しているが、中には昔ながらの習慣で拒否され義歯を入れたまま寝られる方もいる	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 夜間定期的にトイレ誘導等を行っている 失禁が多くなってもすぐに紙パンツやオムツにせず、 トイレでの排泄が出来るように支援を行っている	
			(外部評価) 職員は、利用者個々の排泄パターンを記録等で把握し、時間を見て声かけされている。夜間は居室でポータブルを置いて、ご自分で使用される方もいる。調査訪問時「トイレに行ってみる」と声かけされ、職員とトイレに行かれる利用者の様子が見られた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給や散歩、体操等の運動に心掛けているが、便秘薬や浣腸に頼っている方もいる。	
			(外部評価) 午後から入浴してもらっている。夕方からの入浴を希望される方もいるが、スタッフ手薄の為希望通りの入浴はできていない。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 午後から入浴してもらっている。夕方からの入浴を希望される方もいるが、スタッフ手薄の為希望通りの入浴はできていない。	
			(外部評価) 一番風呂が好きな利用者が数名おられ、声かけ等に配慮して個々が気持ちよく入浴できるようにされている。職員がお風呂の声かけをされると、ご自分で着替え等を準備する利用者もいる。	利用者からは、毎日の入浴や夕方からの入浴を希望する方もおられるが、利用者の機能低下等により、個々の希望に応じることが難しい現状にある。利用者の状態や職員の人員のこともあるだろうが、個々が入浴をさらに楽しめるような工夫を探り、支援していかれてほしい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々に合った休息の仕方で休息されている 規則正しい生活を送って頂き、日中は作業をしたり、テレビを見たり散歩に行かれ、夜間良く眠れるように支援している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を一人一人ファイルしている。薬の内容が変わった時は業務連絡として周知、又、薬による症状の変化について観察しドクターに報告している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人一人に合った役割をもってもらっている。気候の良い時は月に一度全員で外出したり、季節に合った行事を行っている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出レクは月に一度行かれているけど、個人的な希望には沿っていない。今後家族との協力を得て希望に沿った外出ができるよう支援したい。 (外部評価) 月1回、外出を計画して出かけておられ、紅葉を見に出かけられたり「お寿司が食べたい」と希望される利用者があり、外食等を楽しまれた。利用者の体への負担も考慮して、移動時間は30分以内の場所を探すようにされている。	現在、利用者の身体機能の低下に伴い、個別での外出の機会は少なくなっているようだ。利用者やご家族の希望等も聞き取りながら、協力者を募る等、利用者が日々の散歩や買い物等、日常的に外に出ることができるよう、支援に努めていかれてほしい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小銭程度のお金の管理が出来る方は自分で持っており、外出等では、本人が支払いをされている	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙を預かってスタッフがポストに出すようにしている。電話に関しては、自由に使えるようにリビングに置いており、希望があれば支援を行っている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			居室、廊下、階段等、季節感のある作品を飾っている 光、温度等は調節されている	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			クリスマスツリーを飾っておられたり、近隣の中学生在が届けてくれたクリスマスカードを貼っておられた。ご自分の部屋の場所が分かりにくい方には、扉の側に似顔絵を貼って目印にされていた。調査訪問時、利用者はテレビの前のソファに座って過ごされたり、テーブルで、塗り絵をされていた。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			家族の写真、小物、机等、家で使っていた物を持って来てもらい工夫されている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			テレビのチャンネル操作がご自分で出来るよう、職員が、リモコンボタンに操作方法をご本人に分かるように示しておられた。「夕涼み会」に来られた子ども達と一緒に撮った写真やご自身で色塗りしたカレンダーを貼っておられ方もいる。家族旅行の日程を貼って時々話題にされたり、以前の旅行の写真も貼っておられた。図書館から借りてこられた本をお好きな時に読む方もおられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			施設内は手すりがあり、安全かつ一人一人の力を活かす環境づくりがされている。又浴室の入口には暖簾を掛けたりトイレについては表示、居室には名前を入れたり工夫が行われている。	